

令和4年11月18日

リハビリテーション科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 腹部大動脈ステントグラフト内挿術における術後骨格筋量減少の予後への影響とリスク因子に関する検討

研究機関 市立札幌病院 リハビリテーション科

研究責任者 診療科名/実施責任者名 リハビリテーション科/杉浦宏和

研究の目的 腹部大動脈ステントグラフト内挿術後に生じる骨格筋量減少が予後へ及ぼす影響とそのリスク因子について検討することです。

研究の方法

1 対象となる患者さん

2015年7月から2022年11月までに当院心臓血管外科にて腹部大動脈ステントグラフト内挿術を施行された方です。

2 利用するカルテ情報

診療録より、診断名、併存疾患、年齢、性別、術前身体機能（Short Physical Performance Battery ; SPPB）、ADL 評価（Functional Independence Measure ; FIM）、手術情報（手術時間、麻酔時間、術中総水分バランス、出血量）、検査所見（血液検査、心エコー検査、呼吸機能検査、CT 検査）、リハビリテーション経過（座位開始日、立位開始日、歩行開始日、100m 歩行開始日、歩行自立日）、術後経過（術後合併症発生率、術後在院日数、退院後の死亡ならびに心血管イベント発生率）を調査し、後方視的に検討いたします。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目

市立札幌病院リハビリテーション科